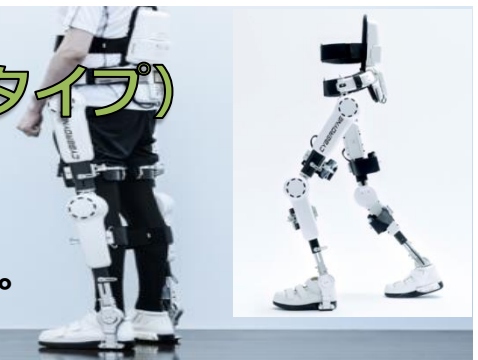


# HAL (Hybrid Assistive Limb)® 医療用(下肢タイプ)

可能性へ踏み出す、HAL®の大きな一歩。

## HAL-ML05 シリーズ

長野県下初。※ 機能改善治療用、ロボット医療機器。



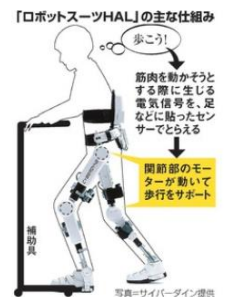
## HAL®が変えるのは、 脳の地図。

もどおりの神経の経路をうまく使用できず、脚の動かし方が分からなくなっています。そこで HAL® 医療用（下肢タイプ）は、「歩きたい」「立ちたい」という思いに従って装着者の脚を動かし、「歩けた」「立てた」という感覚のフィードバックをタイミングよく行うことで脳の学習を促します。HAL® 医療用（下肢タイプ）は、脚の動かし方を脳に教えることができる唯一のロボット治療機器です。

## HAL®は、 あなたの思いに 合わせて動く。

HAL® 医療用（下肢タイプ）は、装着者の“生体電位信号”を読み取り、それに応じて下肢を補助し、装着者自身の脚での、歩行や立ち座りをアシストします。

身体を動かすとき、脳から筋肉へ神経を通してさまざまな信号が送られています。その信号は“生体電位信号”として、皮膚表面に漏れ出ています。HAL® 医療用（下肢タイプ）は、装着者の“生体電位信号”を読み取り、それに応じて下肢を補助し、装着者自身の脚での、歩行や立ち座りをアシストします。



## 治療の進め方

入院や外来にて HAL を装着し歩行練習などのリハビリテーションを実施します。1 回の歩行練習には約 1 時間程度かかります。HAL の使用回数は 9 回を 1 クールとし、使用前後に治療効果の比較として身体計測・筋力測定・歩行評価など必要事項を評価します。1 クールで終了となり、効果の判定を行います。その後、継続して HAL による歩行練習を希望される方は、主治医との相談により進めていく流れとなります。

## 対象者 (HAL の装着や動作が可能か評価を行います)

- 右記に示す疾患の中で医師が適格と判断した方。
- 形態的に HAL の装着が可能な方。
- 皮膚疾患が無く、電極の貼り付けが可能で生体電位が取れる方。

## ※ 対象疾患は以下の 8 疾患となります。

- ① 脊髄性筋萎縮症
- ② 球脊髄性筋萎縮症
- ③ 筋萎縮性側索硬化症
- ④ シャルコー・マリー・トゥース病
- ⑤ 遠位型ミオパチー
- ⑥ 封入体筋炎
- ⑦ 先天性ミオパチー
- ⑧ 筋ジストロフィー

## 治療における自由について

HAL の使用に関しては任意である為、同意して頂けない場合でも、その後の治療に不利益を受けることはありません。また、同意した後でも、いつでも使用を中止することが出来ますのでご安心ください。

費用：通常の保険診療内で行います。

※ ご希望の患者様は主治医の先生にご相談の上、脳神経内科医の外来診察予約をお取りください。  
まつもと医療センター TEL0263-58-4567